

原田メソッド認定パートナー養成講座受講についての感想-気づき

私がこの原田メソッド認定パートナー養成講座を知った媒体は Facebook でした。その Facebook 広告を見た瞬間、これは私の職業である税理士が今後生き残るための武器になると感じました。そしてすぐに「無料の原田メソッド体験セミナー」に参加しました。無料体験セミナーでは原田隆史先生はいなかたものの、原田メソッドの考え方は今まで学んできたことが体系化されて整理されており、そして目標達成のためのツールが用意されている。これは絶対に仕事の可能性が広がる。これを習得すればお客様に喜んでもらえると確信しました。ただ、受講おこと自体は私自身の中、既に決まっていたので、「原田メソッド直伝! 目標達成コース」「原田メソッド実践マスターコース」「原田メソッド習得コース」の3つのコースのうち、どのコースにしようか迷いが生じました。金額面での迷いが大半を占めていたのですが、まだ原田先生の人のなりと全く関係ない状態で「100万円以上のお金を託していいのだろうか?」「私が費用対効果を生み出すことができるのだろうか?」という迷いもありました。そして何もわからずに近い状況でしたが、何も根拠のない「これは絶対に使える!」という最初の自分の勘を信じ、手元をかけたお金が多いと覚悟に決めようと思い、一番高い「原田メソッド直伝! 目標達成コース」を選択しました。また「原田メソッド直伝! 目標達成コース」の他のコースはいいメニューを体験しておりますが、養成講座にて原田先生の話を直接聞いて、「この先生なら信用しても大丈夫!」「このメソッドは本物だ!」と確信して、一番高いコースに後悔は全く生じませんでした。

私は北海道札幌市に在住しておりますが、養成講座は全て東京会場にて受講しました。飛行機代を払ってでも直接受講することに選択した理由は、動画受講よりも動画を見る時間を確保し、自分の想像で下から上まで。この選択は正解でした。飛行機を予約することで覚悟ができて、弱い自分をコントロールできたこと。そして会場で受講する臨場感を味わうことができて、回りの受講生と絆が深まること。また会場での開いた話を原田先生がしっかりとることが良かった。業務の繁忙期と重なったため、録音の提出が期にギリギリとなっていました。何か間に合わせと頑張っている要因の一つは、会場でお会いした受講生の皆さんと Facebook でつながり、お友達になっていたことと実践しているからで、本当に感謝しております。

この後は講座の内容についての感想を述べさせていただきます。

第1回目の講座は、これからどんなことが始まるだろうとワクワクした気持ちで臨みました。原田先生が登場し、原田先生の人のなりが見えます。情熱はもろろと、勉強意欲が生半可な感じが感じました。自立型人間のイメージを見たのは、独学ながら個人的に感じていた私の考えと一緒に思いました。私は税理士という資格を持ち、誇りをしています。弊社のスタッフは常日頃、資格や知識があって人間力を高めたいと、資格や知識が生かせるように話しています。その考えが肯定された気がして、私の気持ちも原田メソッドに手取り寄せられました。そして、その人間力を高めることを具体的に学べるのが、ワクワクした気持ちになりました。次の内容はルーティンでした。通信簿という人の比較による評価基準がはたはる方向にあり、人の思考力、判断力、表現力などの見えにくい力を可視化して評価する手法に変わっていくという話を聞くと、衝撃を受けました。と同時に、その評価による弊害が出てくるし、一体どうやってやるかという否定的に見てきた自分がいました。この時点では私には理解ができていませんでした。しかし、原田メソッドの全体が見えた後、このルーティンが腹に落ちて下のように感じます。

そして第1回目の後半は、5大ツールのうち重要「長期目的、目標設定用紙」についてでした。最初は簡易版ですが、このツールのすごさは回数と回数を増やしていきます。自分で何回も何回もやることはもろろとやること、やることを行くと、相手の長所や短所を引き出している自分を感ずくことで、このツールに感動を覚えました。その後は、仕事開発の構築です。今まで漠然と考えていた理念構築、独立して10年の間に何回も理念を変更していましたが、作業手順1~4の方法が明確で、お客様の理念を引き出す際にも活用できると感じました。これにて、第1回目は終了となりましたが、第1回目の講座は何かとあれ原田先生の熱い思いを感じておいた下りました。

第2回目は、最初に「オープンマインドウ64」でした。曼荼羅シートは見たことがありましたが、実際に

書いたことがなく、付箋を使って、まずは3つ以上書いて、それから選定していく方法は大変参考になりました。3つがいいと言われたら3つに止まってしまうかもしれませんが、限界を越えて引越出可とで、新たな若しくは奥意にあるものを引越せようと思ひました。

統て「ストーリー」です。心の栄養は今の時代特に大事かと思ひます。しかし大事と思ひていて、考慮しなげれぬ、忘れしはりますので、今回の講義を行うとして、ストーリー実践シートを活用し、重要と思ひました。

さて、長期目的・目標設定シートの本格的な実践研修です。オープンウィーク64を行う、これらの長期目的・目標設定シートの作成は自分からしたいことが多くなり、この流れはとて良いと感じました。明確な目標が設定され、なぜか日々行うべきルール・行動、期日行動、支援者、成功の楽しみ、失敗の弱みの分析、予想の問題点、解決策がハッキリし、これやれば、目標は達成されるだろうと確信できました。原田メソッドのすごさを自分自身で感じることで、これこそ自信を持って人に伝えたいと思ひました。

第2回目の最後は「ルーティンチェック表」、長期目的・目標設定シートだけだといい感じでしたが、こころでやるか...と、このルーティンチェック表を見て、頭が下がる思ひました。

第2回目では、原田メソッドの真骨頂を感じておりました。

第3回目は今までの統ての目的の研修です。長期目的・目標設定シート、ルーティンチェック表の考察として、703ワークショップです。長期目的・目標設定シートとルーティンチェック表を改めて見直ししました。さて、703ワークショップは、講座中の実践は散々なものでしたが、課題抽出のために3人と703ワークショップしていくうちにコツが見えておりました。これから回数を重ねること、703ワークショップをいよいよと思ひます。

第3回目は、改めての見直し、理解が深まったと思ひます。

さて、いよいよ最終回の第4回目です。長期目的・目標設定シートとルーティンチェック表、日記の添削方法や12の力をテスト、ルーティンチェックの再分析、そして模擬授業の準備でした。各ツールの添削方法では、やり方を促すワークショップ添削は大変参考になりました。12の力の分析は各力の項目が何で、なぜ、何でか変わっていることなどが分ります。模擬授業は講座中にある程度の口上を作成しましたが、実際に動画撮影をしたことは、修正の連続でした。

6月19日時点で、本学型講義1は、抜けておられますが、20日おのれ抽出が完了です。

この研修は原田メソッド認定パートナーのための研修ですが、自己啓発の目的だけではない最高の研修です。たまた、受講が下りて満足できるわけはいいません。必ず本学型講義を抽出して、原田メソッド実践パートナーとなり、この原田メソッドの友として、自己啓発の大成するという原田先生の理念を共有し、

2018年6月19日

2018年 原田メソッド認定パートナー養成講座

原田メソッド直伝! 目標必達2人 島元 宏史